

別紙

令和 7 年 1 1 月 1 8 日

議会報告会報告書

議会広報広聴特別委員会委員長

桑畑 伴子 様

議会報告会 1 班

渡辺	仁二
高橋	あきら
野村	誠
坂巻	儀一
阿部	治正
藤井	俊行
中川	弘

第 2 5 回議会報告会（第 2 部）の概要は下記のとおりでしたので、報告します。

記

1 概要

第 1 班・総務委員会では、「あなたの声がまちを動かす」をテーマに、市民の皆さまから貴重な御意見・ご質問を多数いただきました。以下に主な意見・質疑内容と、それに対する議員側の回答概要を報告します。

参加者数：第 1 回目 5 名、第 2 回目 3 名

市民からの主な意見・質疑と議員の対応

（1）行政視察の実施と活用について

おおたかの森在住（男性）より、議会が行う視察の目的や市政への反映、また他市からの視察受け入れ体制について質問がありま

した。

これに対し、議員からは以下のような回答がありました。

- ・視察で得た学びを一般質問などを通じて市政に提案している。
- ・他市からの議会改革等に関する視察は、担当議員の持ち回りで対応している。
- ・行政視察については、委員会ごとに参加議員全員が報告書を提出。会派視察では会派単位で報告書を提出している。

（２）流山新橋周辺の環境問題と地域課題について

三輪野山在住（男性）から、流山新橋建設反対運動の経緯や、現在も続く振動・騒音への懸念、旧消防署前水路の氾濫など、地域に残る課題が指摘されました。また、反対運動資金の行方についての質問もありました。

（３）職員の人員適正化と議会の関与について

おおたかの森在住（男性）から、市職員を５年間で７０名増員する計画についての見解や、議員による審議会傍聴の必要性について意見がありました。

議員からは次のような回答がありました。

- ・現状では正規職員数が不足していると認識している。
- ・庁舎の狭隘さが人員増の課題。
- ・市民参加の審議会はできる限り傍聴したい。

（４）防災対策と庁舎の在り方について

おおたかの森在住（男性）から、江戸川氾濫や首都直下地震、富士山噴火などの大規模災害を想定し、市役所庁舎の立地を見直すべきではないかとの意見がありました。

議員からは、

- ・現庁舎に加え、防災上の観点から第２の庁舎的な拠点を検討する必要がある。
- ・将来を見据えた計画づくりが重要。
- ・こどもたちへの防災教育の充実も重要である。

との回答がありました。

(5) 学校施設の老朽化と整備計画について

流山在住（男性）より、流山小学校の老朽化に伴う建替の必要性について意見がありました。

議員からは、

- ・急増する児童数への対応として新設校建設を優先してきた。
- ・給食室などの整備には新基準（HACCP）対応が必要で、慎重な検討を要する。
- ・土地確保や学習環境の公平性の観点も考慮している。
- ・学校間格差是正のため全小学校へのエアコン設置を全会一致で推進した。

(6) 内水氾濫対策と老朽インフラの更新について

三輪野山在住（男性）より、内水氾濫への市の対応の遅れや、地域間の排水設備格差に関する問題提起がありました。

議員からは、

- ・上下水道管の経年劣化調査を進め、計画的に更新している。
- ・現場確認を行い、改善に努める。

との回答がありました。

(7) 議員報酬と働き方について

北部在住（男性）より、議員の働き方や報酬水準についての意見がありました。

議員からは、

- ・子育て世代の議員にとって報酬のみで生活するのは厳しい。
- ・所属政党として報酬引き上げは考えていないが、人事院勧告には従う。
- ・報酬水準の低さが、なり手不足の一因になっているのも事実である。

2. まとめ

今回の報告会では、行政運営から防災、教育、インフラ、議員活動まで幅広い分野にわたり、市民の皆さまから率直な御意見をいただきました。これらの声を今後の議会活動・政策提案に活かし

てまいります。

3. 所感

今回の報告会では、参加者の皆さまから市政に対して率直かつ具体的な御意見を多数いただき、改めて市民と議会との対話の重要性を実感いたしました。特に、防災対策や教育環境、職員体制など、日常生活に直結する課題への関心が高く、市民の皆さまがまちの将来を真剣に考えておられることを感じました。今後もこうした意見交換の場を通じて、市民の声を確実に議会活動へ反映し、より開かれた議会運営に努めてまいります。

【渡辺 仁二】

個人的には今回で2回目の全体での報告会になりましたが、第1部の全体会も短時間で簡潔に終わり、第2部で2つの班に参加できるメリットもあるので、この形式が少しの間は良いかと思います。総務委員会の参加が少なかったですが、皆さんの意見で交流できたと思います。次回は参加者を増やす工夫と、会場はセキュリティーの面で休日の市役所内ではなく他会場がいいかなと感じました。議会広報広聴特別委員会の皆さん、準備が大変だったと思いますが、お疲れ様でした。

【高橋 あきら】

第1部・第2部を通じて、市民の皆様から寄せられた率直な御意見は、現場の課題を照らし出すもので、私たち議員にとって気づきとなりました。行政運営、防災、教育、インフラ整備、議会のあり方など多岐にわたる声を真摯に受け止め、今後の政策提案と議会活動に反映してまいります。今回の委員会室を使用した議会報告会はとてもやりやすかった反面、事前の準備、後片付けに時間を要するのとセキュリティーの課題があると感じました。

【野村 誠】

庁舎委員会室を会場としての開催は、設営、レイアウト変更、撤収と、今までの議会報告会と比較して、労力と時間を要することになったが、第1部での議員と参加市民との一体感ある演出や、第2部では昨年のような隣の委員会との音の干渉も抑えられ、会場設営に関して何度か議会報告会への参加経験のある市民や議員0Bからもポジティブな感想をいただいた。

第1部、第2部を通じて忌憚のない意見交換が交わされ、特に、第2部においては、少人数での対話のお陰か、ある意味「腹を割っての話し合い」のようになり、疑念、不満のあった市民の方の御意見に対し、議員達からの回答により市民の方が納得していただいたというような、お互いにとって有意義な対話が展開された。今後も進化する議会報告会が開催されていくことを議会全体で取り組んでいきたい。

【坂巻 儀一】

今回の議会報告会は、昨年と同じく第1部が全体会、第2部の分科会という2部構成でした。しかし今回は第1部と第2部をひとつの会場で行ったために生じた分科会同士の声の干渉などの不都合を、今回は分科会を別部屋としたことで解消できました。色々な開催形式を試してきた議会報告会ですが、25回目にしてひとつの典型を確立できたように思います。

第1部のテーマを「議会って何をしてるの?」「議員の仕事って何?」としたことは、市民の皆さんに改めて議会のそもそも論をお伝えすることに役立ったと思います。これは、意外と知られていない事だったと思われ、好評を得たようです。第2部に入る上での前提的な理解としても役立ったと思います。

第2部では、第4班(総務委員会)の市民参加は少数でしたが、逆に参加者全員に発言をして頂くことができたのは良かったと思います。ただ、特定の政党や議員への批判に傾く発言があり、議会報告会の趣旨から逸れる場面も生じたように思います。市民側にもそれぞれにこだわりの主張がある以上、ある程度は仕方がない面もありますが、今後の課題のひとつです。この種の問題は、日常の議員活動の中で解消をはかっておくのもひとつの知恵か

と思います。

【阿部 治正】

第１部では、分かりやすく女性議員比率等も盛り込みながら説明があり良かったと思います。第２部では、総務委員会ということなのか参加者は少人数でしたが、かえってぎっくばらんに率直な意見交換ができました。前は隣のグループの声で聞こえない場面もありましたが、今回は委員会室活用で良かったと思います。

【藤井 俊行】

第１部においては委員会室を使用し全議員が参加する形で行ったが、どうしても議員側の対応が発表者に偏る傾向があり今後の運営に関し一定の課題が残った。第２部は従来通りの班別（委員会別）に委員会室に分かれてのセッションとなったが、２班は常任委員会という性格からか参加者が少なかったが、一部厳しい指摘もあったもののその分じっくりと話を聞くことができた。また、前回報告会で話が聞き取りにくいとされた点は改善されたと思う。議会報告会としては初の試みとして、市役所４階の委員会室で開催した報告会となった。この点に興味を持ち参加いただいた市民もあり（その旨の発言あり）、意味はあったがその一方で休日の市役所ということで制限もあり、今後の取組については再考が必要な点も確認できた。今後の議会報告会開催については、開催場所・運営について改善する面はあるが、委員長はじめ議会広報広聴特別委員会委員の御尽力もあり概ね成功と評価できる。

【中川 弘】